

Model Course 7

志野峠から中津川・粉河寺へ

【葛城第六経塚(志野峠)】

山中の六番経塚から  
修験の里、中津川を訪れ、  
粉河寺へと下っていく

葛城第六経塚は、志野峠にある。松峠にも経塚の標柱があり、平成元年に志野峠の経塚が発見されるまでは、第六経塚の跡として参拝されていた。ここから直接第七経塚を訪れ、中津川行者堂を経由して粉河寺に下るルートもあるが、廃道に近い場所を行くので、第七経塚はモデルコース⑧で訪れることにしたい。

神通バス停から南下し、葛城修験の道標を見つけて左に派生する林道に入っていく。林道を緩やかに登り詰めていくと、志野峠に出る。第六経塚の「経塚」の文字が刻まれた石碑は、三叉路になった峠の左の土手の向こう側にある。峠をそのまま直進して下っていくと左手の林の中に松峠がある。その先で道は2分するが、そのまま直進して下っていくと、初代紀州藩主、徳川頼宣が造らせたという桜池に出る。さらに下り、西部運動場前で左折し、京奈和自動車道と並行して進んでいく。南西角に「松木宿跡」の碑がある信号まで来たら、左折して北上していく。途中に分岐があるが、行者堂、熊野神社の表示もある。集落を抜けて進み、枝谷に沿うように「く」の字を描くと中津川行者堂がある。古さびて重厚な急な石段を登ると護摩鉢とお堂がある。葛城修験の重要な場所で、聖護院門跡の儀式、葛城灌頂もここで行われる。中津川には、役行者の従者、前鬼の子孫と伝わる五家がある。行者堂の先にあるのが熊野神社で、このあたりを前鬼谷と呼んでいる。

熊野神社を拝したら、もと来た道を戻り、松木宿跡を過ぎてなおも直進して南下していく。粉河寺の大門が正面に見えたところで左へ、参道を本堂へと向かう。本堂の左側の山中に行者堂がある。

粉河駅は、大門をくぐって南に直進したところにある。

歩行距離 ◆ 約14km

体力レベル ★★

歩行時間 ◆ 4時間25分

登山レベル ★★



※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報



三叉路になった志野峠。左の土手の裏に第六経塚がある



葛城修験の行場のひとつ松木宿跡。役行者の腰掛松があったという



中津川の前鬼谷にある熊野神社。立派な社殿が建つ



荘厳な建物の粉河寺本堂。西国三番札所で巡礼者の姿が絶えない

アクセス



アドバイス

志野峠の経塚は、峠を越えてすぐ左手の林の中にある。一部未舗装部分もあるが、道路歩きが主になるので、しっかりしたウォーキングシューズでもOK。粉河寺は、境内は無料だが、本堂の内陣拝観は有料。また、往路のバスは1時間に1便程度ある。